

1 焼津青少年の家について

(1) 焼津青少年の家は

昭和 37 年、青少年の健全育成を図る目的で開設された社会教育施設です。昭和 61 年、年々増え続ける研修生や多様なニーズに応えるため、現在の建物に建て替えました。駿河湾に面した焼津石津浜の地で、野外活動や集団生活などの体験を通して、豊かな人間性を備えた青少年の育成、その他社会教育の振興に資するための施設です。

(2) 教育目標

心豊かなたくましい青少年を育成するとともに、生涯学習の推進を図る

(3) 教育目標への取組

① 豊かな感性を育む

自然との出会いは、美しさ、不思議さ、偉大さ、生命の尊さなど様々な感動を私たちに与えてくれます。本所の体験活動を通して、海とその周辺の自然とふれあう中から豊かな感性が育まれていくことを願っています。

② 思いやりの心と協調性を育てる

少子化、核家族化、地域社会のつながりの希薄化などにより、周囲の人々とかかわり合うことが少なくなってきました。そのため、人と人との心がふれあう機会が少なくなり、人の温かさに気づく心や協調する力が育ちにくくなっています。本所の体験活動を通して、思いやりの心や協調性が育つことを願っています。

③ 自主性とやりぬく力を育てる

社会変化や家庭生活の変化により、子どもが家事を担うことが少なくなってきました。仕事を任されたり、自分で決めた目標に向かって努力し成し遂げたりすることによって、子どもは自分の存在を自覚したり、自信をもって行動したりすることができるようになります。本所の体験活動を通して、自分から進んで取り組もうとする意欲やねばり強くやり通す力が育つことを願っています。

④ 生涯にわたって学び続ける

生涯にわたる学びを通して社会とかかわることが求められています。新たな知識や技術を習得したり、ボランティア活動などで社会に貢献したりして、自らの人生を豊かにしたいという学習ニーズも高まっています。そのため、本所を生涯にわたって学び続けるための仲間と集う場、ボランティア活動の場として活用していただき、生きる喜びを味わっていただくことを願っています。